

民事訴訟における釈明・指摘義務 正誤表

	正	誤
2 頁下から 6 行目	(1 項)	(1 頁)
2 頁下から 4 行目	(4 項)	(4 頁)
63 頁16行目	指摘がなされなければならぬか	指摘がなされなければならぬか
66 頁 12 行目	導き出してはならず	導き出してはならならず
227 頁注 137) 7 行目	贈与についても生の事実の	贈与についても右の事実の
240 頁 8 行目	裁判所は、職権調査事項の	裁判所は、 当事者 に職権調査事項の
248 頁注 2)	東京高 決 昭和 56・3・3	東京高 判 昭和 56・3・3
265 頁注 24)	最 決 平成 29・1・19	最 判 平成 29・1・19
310 頁 7 行目	予備的請求を提起しまたは予備的抗弁を	予備的 な 請求を提起しまたは予備的 な 抗弁を
310 頁 8 行目	裁判所の 裁判 を	裁判所の 判断 を
345 頁 25 行目	弁論を再開して Y に対し	弁論を再開して Y 対し
347 頁注 13) 11 行目	判決の既判力によって 後訴 で	判決の既判力によって 控訴 で
360 頁注 48)	注解民訴〔第 2 版〕 (3) 442 頁	注解民訴〔第 2 版〕 442 頁
384 頁 31 行目	最 決 平成 29・1・19	最 判 平成 29・1・19
384 頁 35 行目	東京高 決 昭和 56・3・3	東京高 判 昭和 56・3・3